

☆ 由木東っ子 自分でつろう そこカ ☆



教育目標

ゆぎひがし

そこカのある子

- ・見つめ考え言える子
- ・ねばり強くやりとげる子
- ・心も体もじょうぶな子
- ・すすんで力を合わせる子

令和 7 年3 月 14 日

八王子市立由木東小学校

特別号

TEL 6 7 6 - 7 7 2 3

学校教育に関するアンケート結果（後期）の報告について

校長 鈴木 裕子

学校評価アンケート（後期）に御協力いただきありがとうございました。令和6年度「学校評価に関するアンケート」（後期）の結果がまとまりましたので、報告させていただきます。今回いただいた貴重な御意見は、真摯に受け止め、今後の教育活動及び学校運営に生かしてまいります。アンケートの集計結果と今後の方針について、下記のとおり御報告いたします。

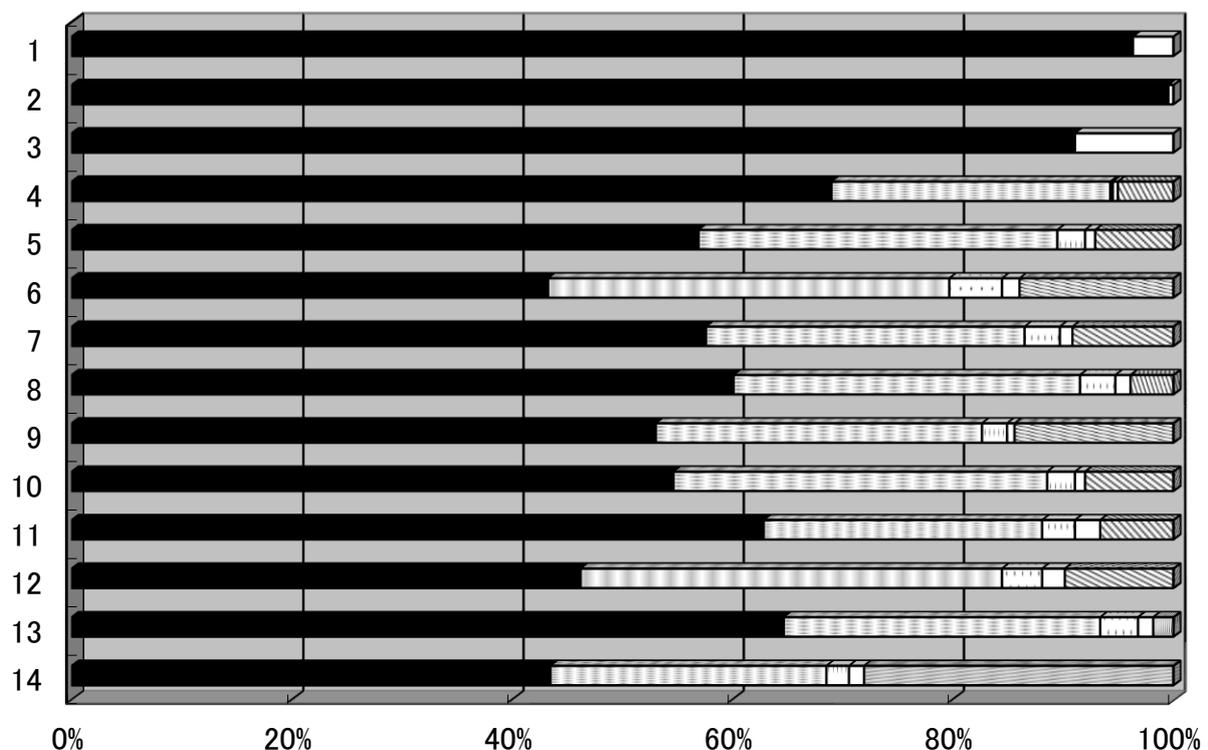
●学校評価 保護者アンケート

実施期間 令和6年12月2日～13日 回答数 439名

※無回答があるため、各項目の総計にばらつきがあります。

※数値は小数第一位を四捨五入しているため、設問ごとの集計値は必ずしも100%にならない場合があります。

学校評価アンケート(保護者)



■よくあてはまる □あてはまる □あまりあてはまらない □あてはまらない □わからない

	A…そう思う B…どちらかというと思う C…どちらかという そう思わない D…そう思わない E…わからない	A	B	C	D	E	合計	AB評価 の割合
1	学校の教育目標(そこ力のある子 ○見つけ考え言える子 ○ねばり強くやりとげる子 ◎心も体もじょうぶな子 ○進んで力を合わせる子)を知っている。	96%	0%	0%	4%	0%	439	96%
2	学校は、特色ある取組(動物ガイド、米作り、川の学習、蚕の学習、地域の公園めぐり等)を行っている。	100%	0%	0%	0%	0%	439	100%
3	本校が、由木中学校と合同で行う取組(運動会お手伝い・由木音頭、部活動体験、リトルティーチャー等)を知っている。	91%	0%	0%	9%	0%	439	91%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	69%	25%	0%	0%	6%	439	94%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。	57%	33%	3%	1%	6%	439	90%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	43%	36%	5%	2%	14%	439	79%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	58%	29%	3%	1%	9%	439	87%
8	学校は授業において、説明、板書、話し合い活動、(ICT機器(1人1台の学習用端末等を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。	60%	31%	3%	1%	5%	439	91%
9	学校の学習活動に対する評価は、適切・公平である。	53%	30%	2%	1%	14%	439	83%
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	55%	34%	3%	1%	7%	439	89%
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	63%	25%	3%	2%	7%	439	88%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	46%	38%	4%	2%	10%	439	84%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	65%	29%	3%	1%	2%	439	94%
14	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。	44%	25%	2%	1%	28%	439	69%

保護者アンケート分析

- ・肯定的な回答(よくあてはまる、あてはまる)が概ね90%を超えており、本校の教育活動に御理解をいただいていることが伺えます。
- ・項目2「学校は、特色ある取組(動物ガイド、米作り、川の学習、蚕の学習、地域の公園めぐり等)を行っている。」では、多くの肯定的なご意見をいただきました。特色ある取り組みに関しては、今年度、5年生が中央大学の留学生との交流を行ったほか、4年生は福祉体験、3年生は地域学習、2年生は町探検等、多くの取り組みを行いました。体験的な活動は今後も本校の重点とする特色ある教育活動として取り組んでいきます。
- ・項目6「学校は、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。」では、6%が「あまりあてはまらない・あてはまらない」、14%が「分からない」の回答でした。本校では、毎週1回「いじめ対策委員会」を開き、各クラスの状態を全教員で共有をしています。また、早期発見・早期解決を図るため、毎月1回アンケートを実施し、児童の状態を確認しています。由木3校(由木東小・由木中央小・由木中)では、八王子サミットにおいて、いじめがおこらないようにするための取組を代表委員会・児童会が中心となって話し合い、全校で取組を行っています。今後もいじめは「しない・させない・見逃さない」をスローガンとし、全校で取り組んで参ります。何か気付いたこと、不安なことがあれば、学校見守りシートの活用や担任、学校へご連絡ください。
- ・項目8「学校は授業において、説明、板書、話し合い活動、(ICT機器(1人1台の学習用端末等を含む)の活用などの工夫に取り組んでいる。」では、肯定的なご意見をたくさんいただきました。本校では、八王子市の「GIGAスクール構想」を踏まえ、各教科等の特性に応じ1人1台の学習用端末を個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に活かせるよう活用を進めています。また、一人一台の学習用端末のドリル型学習コンテンツを、朝学習や家庭学習で積極的に活用していき、児童の基礎・基本の一層の定着を図ることができるよう、進めています。

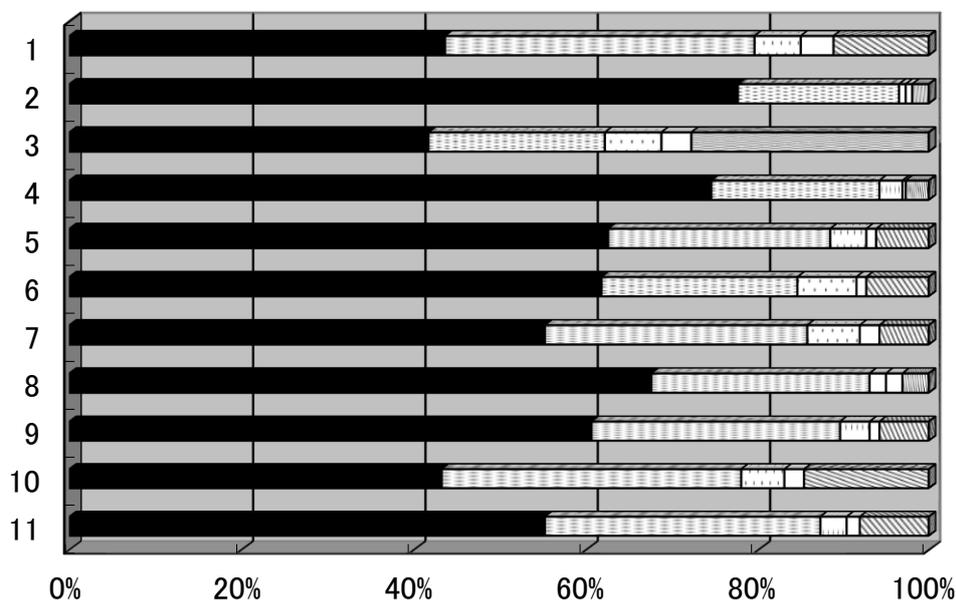
●学校評価 児童アンケート（5・6年生）

実施期間 令和6年11月25日～29日 259名

※無回答があるため、各項目の総計にばらつきがあります。

※数値は小数第一位を四捨五入しているため、設問ごとの集計値は必ずしも100%とならない場合があります。

後期学校評価アンケート(児童)



■よくあてはまる □あてはまる □あまりあてはまらない □あてはまらない □わからない

	A よくあてはまる D あてはまらない	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D あてはまらない	E わからない	AB評価の割合	
1	先生たちは、学校目標(そこ力のある子 ○見つめ考え言える子 ○ねばり強くやりとげると ◎心も体もじょうぶな子 ○すすんで力を合わせる子)を伝えていますか。	43%	36%	5%	4%	12%	79%
2	先生たちは、特色ある取り組み(米作り、動物ガイド)を行なっていますか。	77%	19%	1%	1%	2%	96%
3	先生たちは、由木中学校と合同で行う取り組み(部活動体験、リトルティーチャー)を行なっていますか。	42%	20%	7%	3%	28%	62%
4	先生たちは、児童生徒が安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいますか。	74%	20%	3%	0%	3%	94%
5	自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動ができるように、先生たちは指導していますか。	62%	26%	4%	1%	7%	88%
6	先生たちは、いじめをおこなさない取組を行ったり、発生した場合には直ちに対応したりするなど、いじめを許さない学校づくりに取り組んでいますか。	62%	23%	7%	1%	7%	84%
7	先生たちは、落ち着いて学習できる学級づくりに取り組んでいますか。	55%	30%	6%	2%	7%	85%
8	先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(Chrome book)の活用などの工夫に取り組んでいますか。	67%	25%	2%	2%	3%	93%
9	先生たちは、児童がより良い生活を送れるように、学校の生活指導の目標やきまりを守るように指導していますか。	60%	29%	3%	1%	7%	89%
10	先生たちは、「はちおうじっ子・キャリア・パスポート」等を用いて、児童の生き方や将来についての指導をしていますか。	43%	35%	5%	2%	15%	78%
11	先生たちは学習環境の整備に取り組んでいますか。	55%	32%	3%	2%	8%	87%

児童アンケート分析

- ・全11項目の中で、7項目が85%以上の肯定的な回答でした。
- ・前期と比べて、4項目で肯定的な回答のポイントが増えました。その中でも、項目2「先生たちは特色ある取り組みをおこなっていますか。」では、4ポイント上がりました。5年生では、米作りを1学期から行い、2学期には自分たちでお米を収穫して食べたり、中央大学の留学生との交流会を行ったりしました。6年生は、5月から行ってきた動物ガイドを10月に多摩動物公園で行うことができました。このような特色ある取り組みを今後も継続していきます。
- ・項目8「先生たちは、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器の活用などの工夫に取り組んでいますか。」では、2ポイント上がりました。日々の学習において、一人一台の学習用端末を活用した授業を行ったり、2学期から家庭学習においてもドリル型楽手コンテンツの活用を行ったりしました。今後も、一人一台学習用端末を活用して、個別最適な学びと協働的な学びを一体的にとらえた学習を推進していきます。